

日语阅读

文选教程

◎ 吴月新 / 编著



吉林人民出版社

日语阅读文选教程

吴月新 编著

吉林大学出版社

图书在版编目 (CIP) 数据

日语阅读文选教程 / 吴月新编著. — 长春: 吉林大学出版社, 2006

ISBN 7-5601-3546-3

I. 日... II. 吴... III. 日语-阅读教学-高等学校-水平考试-自学参考资料 IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2006) 第 022970 号

日语阅读文选教程

吴月新 编著

责任编辑、责任校对: 刘子贵

封面设计: 张沐沉

吉林大学出版社出版
(长春市明德路 421 号)

吉林大学出版社发行
吉林大学印刷厂印刷

开本: 850 × 1168 毫米 1/32

2006 年 4 月第 1 版

总印张: 6.25

2006 年 4 月第 1 次印刷

字数: 132 千字

印数: 1-1000 册

ISBN 7-5601-3546-3

定价: 21.00 元

前 言

本教程本着提高学生的阅读能力，拓宽学生的视野、丰富语言素材，培养学生对日语文章的阅读兴趣并与日语专业四级考试等各类日语考试密切配合等目的而编写的。教程的特点是课文的题材广泛、体裁多样，既有反映时代脉搏的文章，也有传统文化的佳作；既有年轻人感兴趣的话题，也有思想内涵丰富的作品。课文均为经过严格筛选的日语原文，内容新颖，所有的文章都是近年发表的作品，其中多数的文章是优秀获奖作品。对课文中难读的单词及地名、人名都标注了读音，对一些语法现象、单词的释义、例句都使用日语，以培养学生用日语思考的能力。为了便于学生准确地理解课文的内容，每篇课文都附有参考译文。对一些知名的作者也用日语做了充分的介绍。

本教程适合于日语专业二三年级的泛读课、大学日语的阅读课和各类日语教学培训课的教学，也可供广大具有中高级日语水平的日语自学者使用。并可作为精读教材的配套教材使用。

编 者

2006年12月5日

目次

第一課	ある元旦のこと	(1)
1.	文法の問題	(4)
2.	新しい言葉と表現	(4)
3.	参考译文	(6)
第二課	夢への期限付きの目標を	(9)
1.	新しい言葉と表現	(10)
2.	参考译文	(11)
第三課	盲導犬	(13)
1.	新しい言葉と表現	(16)
2.	参考译文	(18)
第四課	とび職の父	(21)
1.	文法の問題	(26)
2.	新しい言葉と表現	(27)
3.	参考译文	(29)
第五課	車内のゴミ	(34)
1.	注釈	(37)
2.	新しい言葉と表現	(37)
3.	参考译文	(37)

第六課	20年後の労働市場を予想	(40)
1.	新しい言葉と表現	(42)
2.	参考译文	(43)
第七課	(面接)やっぱり外見も大事	(45)
1.	新しい言葉と表現	(49)
2.	参考译文	(51)
第八課	売れない壺	(55)
1.	注釈	(57)
2.	新しい言葉と表現	(58)
3.	参考译文	(58)
第九課	心の校歌	(61)
1.	新しい言葉と表現	(65)
2.	参考译文	(66)
第十課	あたたかい手	(70)
1.	新しい言葉と表現	(74)
2.	参考译文	(75)
第十一課	娘の就職戦争	(79)
1.	新しい言葉と表現	(85)
2.	参考译文	(86)
第十二課	コメ百俵の教え	(91)
1.	作者紹介	(97)

2. 注釈	(98)
3. 新しい言葉と表現	(99)
4. 参考译文	(100)
第十三課 華硝	(105)
1. 新しい言葉と表現	(109)
2. 参考译文	(110)
第十四課 音楽と走ること	
—姉に感謝して	(114)
1. 注釈	(115)
2. 新しい言葉と表現	(117)
3. 参考译文	(118)
第十五課 信号を待つ間	(121)
1. 新しい言葉と表現	(122)
2. 参考译文	(123)
第十六課 マスクにゴーグル…	
この春の流行ファッション!?	(125)
1. 注釈	(128)
2. 新しい言葉と表現	(128)
3. 参考译文	(130)
第十七課 「福岡沖地震」	
「列島の全域が警戒対象地域だ」	(133)

1. 新しい言葉と表現	(135)
2. 参考译文	(135)
第十八課 アニと僕の夫婦喧嘩	(138)
1. 新しい言葉と表現	(141)
2. 参考译文	(144)
天声人語篇	(147)
1. 【天声人語】2005年7月30日	(147)
①新しい言葉と表現	(148)
②参考译文	(150)
2. 【天声人語】2005年8月11日	(151)
①注釈	(152)
②新しい言葉と表現	(152)
③参考译文	(154)
3. 【天声人語】2005年9月2日	(155)
①文法の問題	(156)
②新しい言葉と表現	(157)
③参考译文	(158)
4. 【天声人語】2005年9月25日	(159)
①新しい言葉と表現	(161)
②参考译文	(161)
5. 【天声人語】2005年10月3日	(163)
①新しい言葉と表現	(164)

②参考译文	(165)
6. 【天声人語】2005年11月07日	(166)
①注釈	(167)
②新しい言葉と表現	(168)
③参考译文	(169)
7. 【天声人語】2005年11月18日	(170)
①注釈	(172)
②新しい言葉と表現	(173)
③参考译文	(174)
8. 【天声人語】 2005年12月18日	(175)
①注釈	(176)
②文法の問題	(177)
③新しい言葉と表現	(178)
④参考译文	(180)
9. 【天声人語】2005年12月19日	(182)
①注釈	(183)
②文法の問題	(183)
③新しい言葉と表現	(184)
④参考译文	(185)
10. 【天声人語】2005年12月23日	(186)
①新しい言葉と表現	(187)
②参考译文	(188)

第一課

ある元旦のこと

北村 直哉

これは、昔から続く我が家の迎春の仕来りだが、半紙大の紙に、「新聞屋さん 郵便屋さんあけましておめでとうございます。

旧年中は、大変お世話になり、有難うございました。

本年も何卒よろしく願いいたします。

亭主」

と書き、裏面に厚紙をあてて、雨や雪に濡れてもいいように透明なビニールの袋をかぶせ、門に作り付けてある新聞受兼郵便受の函のそばに吊るしておくのである。

このことは、私は物心のついて頃から覚えているから、きっと、もっと以前から行われてきたのだろう。

それも、必ず、父親の手によってなされてきた。

定年後五年位で他界した父は、明治の生まれで、四十数年国鉄（現 JR）に奉職した仕事一筋の昔人間であった。父は、事あ

る毎に、「わたらの仕事はお客様が仕事を休み、遊び楽しんでい
る時が一番大事な時や。わたらが、事故なく列車を動かすこと
が、みんなのためになるんじゃない……」と言っていた。

事実、^{ねんまつ}年末・^{ねんし}年始、お盆の頃など何か行事があって人の出る時
とか、あるいは大雨大雪、台風の時などは決まって駅に出て行った。

それだけに、新聞や郵便の配達に携^{なづき}わる人達が、一般の人の
休日には関係なく仕事をしている姿を見るにつけ、自分と同じ境
遇にある彼らに、人一倍関心があったのだろう。その関心が感謝
の気持ちとなって、この挨拶^{あいさつ}の言葉^{ことば}になったのだと思う。

子供の頃からそれを見てきた私は、^{しよない}所帯^もを持ち、^{おやもと}親元から独
立して以来、父を真似^{まね}て同じことを毎年してきた。

今年の元旦の朝のことである。

いつもなら、私は、いつ新聞が配られてきたのやら、年賀状が
いつ頃配達されたのやら、まったく気づかず、家の者が受函^{うけはこ}から
取ってきて、テーブルの上においてあるのを手にするのが常であ
った。

ところが、今年は雪がちらちら舞いだしたこともあって、どう
した塩梅かダイニングの椅子に腰を掛け、お屠蘇^{とす}の酔いもあって
何となく外を眺めていた。

その時である。バタバタというバイクの音がしたと思うと、元
旦の部厚^{ぶあつ}い新聞を手にした高校生らしい少年が門に近づいてきた。

受函の前まで来て、ふと挨拶板かいまつばんに気がついたようで、じっとそれを見つめ、そっと顔を寄せ、読み下したようであった。その瞬間であった。少年はかぶっていた帽子をさっと脱いだかかと思うと、その挨拶板に向かって深々と頭を下げたのである。

その逐一ちくいちをガラス戸越しどごしに凝視ぎようししていた私は、あっと声にならない声を発し、強烈な感動に襲われ、涙さえこみ上げてきた。

何という清清すがすがしさ！何という美しさ！

少年の純真じゆんしんな心にまともにぶつかったような気がした。

「今時の若い者はなっていない！」と世間は言うし、私自身もまた、あえてそれを否定してこなかっただけに、「この情景は一体何なのだ」と感無量かんむりようで、しばし言葉も出ない有様だった。

もうその時には、少年はバイクの音を響かせ、次の家に向かって走っていった。

それでなくても日本人にとって格別かんがいに感慨おぼを覚える元朝げんちように、こうした光景に遭遇したことで、心新たに迎えた新春への期待と希望を一層かきたてられたのである。

そして、父が、自分の身に置き換えてのことかも知れないが、他人の苦勞を思いやる温かい心遣いをしていたんだなあと今更ながら嬉しく思うと同時に、こうした少年がいる限り、人間の未来はまず大丈夫あんた、安泰あんたいだろうとつくづく感じたことである。

(潮文社しおぶんしゃ『心に残るとっておきの話』による)

【文法の問題】

文型：「…につけ」

構成：「名+につけ」

意味：慣用的に固定した表現で、「何事につけ」「何かにつけ」の形で、それぞれ「どんな場合でも」「何かのきっかけがあるたびに」という意味を表す。

例文：

1. 何事につけ我慢が肝心だ。
2. 彼は何かつけ私のことをめのかたきにする。
3. 山田さんご夫妻には何かにつけ親切にさせていただいています。

【新しい言葉と表現】

仕来たり(しきたり) [名] これまでの慣例。ならわし。

半紙(はんし) [名] 古くは延べ紙を半分にしたもの。のち、縦24~26センチ、横32~35センチの日本紙をさすようになった。

亭主(ていしゅ) [名]

- (1) その家の主人。特に宿屋・茶店などのあるじ。
- (2) 夫(おと)。
- (3) 茶の湯で、茶事を主催する人。主人。

ダイニング [名]

- (1) 食事。
- (2) 「ダイニングルーム」の略。

盆 (ぼん) [名] 《「盂蘭盆 (うらぼん)」の略》

- (1) 盂蘭盆のこと。お盆。
- (2) 盂蘭盆の供物・布施。

逐一 (ちくいち) [副]

- (1) 一つ一つ順番に行う様子。
- (2) いちいち詳しく。

塩梅 (あんばい) [名・他サ] 《味の基本である塩と梅酢の意の「えんばい」と、物をぐあいよく並べる意の「按排」とが混同した語》

- (1) 料理の味加減。
「一をまちがえて、食べられたものではない」
- (2) 物事のぐあい・ようす。
「いい一にメンバーがそろっている」
- (3) 身体のぐあい・ようす。
「一が悪いので仕事を休む」
- (4) (按排・按配) 物事のぐあい・ようす・程合いを考
えて、程よく並べたとのえたり処理したりすること。
「文化祭での出し物の順をうまく一する」

【参考译文】

元旦纪事

这是我家从很早以前便有的迎接新年的惯例。在八裁大（同A3纸规格）的日本纸上写着：

“送报员、邮递员 新年快乐！
去年承蒙多方关照，非常感谢。
今年也请多多关照。

户主”

在这张纸的背面粘上厚纸，为不被雨雪淋湿又在上套上透明的塑料袋，然后挂在门上的报箱旁边。

因为从我记事时起就知道家里有这个习惯，所以肯定有一段历史了。这个习惯也一定是由父亲规定的。

父亲在退休5年后就去世了。他生于明治时期，勤勤恳恳地在国铁工作40余载。

父亲每当遇到什么事时，便说“旅客们休息、游玩时才是我们的工作最重要的时刻。我们平安地使列车运行，是为了大家……”。

事实上，在年末、年初、盂兰盆节等节日客流量多时，或下大雨雪、刮大风时父亲肯定要到站上去。

我想，正因为这样，父亲才会对报纸、邮局的投递员们、那些

在常人休息时也得工作的人们、那些同自己境遇相同的人们，产生双倍的关怀。这关怀化成谢意、化成诚挚的问候。

我从儿时起就目睹父亲所作的一切，自从自己离开父母，成家立业后，每年也模仿父亲做相同的事。

这是发生在今年大年初一清晨的事。

平时我根本不在意报纸、贺年卡是何时送到的，经常是家里人从报箱取来后放在桌子上我才会拿来看。

可是，今年也许是因为外面在纷纷下着雪，我不经意地坐在饭厅的椅子上，由于昨晚喝了酒，现在还有一丝醉意，我无意间向窗外望去。

就在这时，嘟、嘟、嘟传来摩托车开过来的声音，一个高中生模样的少年手里拿着厚厚的元旦发行的报纸来到了门前。

他来到信箱前，似乎突然发现了问候版，他一直在盯着它，悄悄地将脸贴近好像在读问候版上写的问候话。就在这一瞬间，少年一下子把帽子摘掉，朝着问候版深深地鞠了一躬。

透过玻璃我看到了窗外所发生的一切，我吃了一惊尽管没叫出声来，却受到了强烈的震撼，泪水也涌了上来。

这是多么清纯、多么美丽的一幕！

我似乎感觉到自己已与少年的纯真的心灵相碰撞。

人们常说“现在的年轻人不成材”，对于这个说法我也未曾否定过，可这一情景又说明了什么呢。我无限感慨，好一会儿说不出一句话来。

这时，少年又启动了摩托车，朝着另一家驶去。

对日本人来说元旦的早晨是具有特殊意义的，又遇上了这一情景，唤起了我以崭新的心情去迎接新的一年的期望。

我现在欣喜地体味到也许父亲是站在正在工作的人的角度来关心他人的劳苦，同时我深深地感到只要有这样的少年我们人类的未来就会和平、安泰。